

## ～突撃★ドメーヌ最新情報！！～

### ◆VCN°26 ドメーヌ・ル・ブリゾー

生産地方：ロワール

新着ワイン 1 種類♪

#### VdF パタポン 2018 (赤)

2018 年は、久々に収量に恵まれた当たり年！ブドウはモルティエ以外の全てのピノドニスをアッサンブラージュ。ナタリー曰く、2018 年は収穫したブドウが傷ひとつなくほぼ完ぺきだったので、全房のままロングマセラシオンを試みたとのこと。最初の 1 週間だけ毎日ルモンタージュを施した以外はほとんどブドウにタッチせず、密封のまま 9 ヶ月ほどブドウを醸した！出来上がったワインは、エレガントかつ中身が緻密で、カカオのようなほろ苦さと黒胡椒のスパイシーさが艶やかな果実味を引き締める！余韻に長熟を予感させるキメの細かい上質なタンニンの収斂味が残り、彼女曰く、できればあと数年は寝かせてほしいとのこと。また、今飲むのであれば肉汁がジューシーなマグレドカナルや血のソースを使ったジビエとの相性が抜群とのことだ！

#### ミレジム情報 当主ナタリー・ゴビシェールのコメント

2018 年のロワールは、久々に収量に恵まれた当たり年だった！冬のスタートは暖冬で雨が多かった。春も雨が多く気温も比較的暖かかったので、ブドウの芽吹きは例年よりも早かった。天候が不安定で途中ミルデューが畑に出始めたが、幸い開花時は晴れ間が続き、ミルデューの問題なく開花を順調に終わらせることができた。また、前年が 2 年連続不作だった反動もあってか、いつもよりもブドウの房の数が多く、この時点で豊作が期待された。6 月中旬に入ると一転雨の降らない乾燥した天候が収穫終わりまで続いた。7 月の終わりから 8 月の中旬にかけて猛暑に見舞われたが、冬と春に降った雨のおかげでブドウは疲弊することなく順調に成長し、最終的に傷ひとつない完璧なブドウを収穫することができた。

#### 「ヨシ」のつ・ぶ・や・き



写真④ブリゾー畑にある 6 列のピノドニス (収穫前)

これは 2019 年のル・ブリゾーの収穫風景。(写真④) 前回も説明したが、ル・ブリゾーの畑にはシュナン以外に 6 列だけピノドニスと植えられている。この写真はそのピノドニスの収穫を撮ったものだが、前年の豊作とは打って変わって、ほとんどブドウが付いていない…。何枚か写真を撮ったのだが、それなりにブドウが目視できる写真はこの 1 枚しかなく、あとの写真は、すでに収穫が終わったみたいに閑散としているものばかりだった。2019 年は、4 月初めと 5 月初めの 2 回にわたって霜の被害に遭い 80% の減収…惨憺たる結果に終わり、2019 年のドメーヌはパタポン赤のみのようだ。

ル・ブリゾーのシュナンは1ヘクタール当たり1ケースにも満たないほんの微々たる量しか取れなかったため、全てパタポン赤に混ぜている。写真のブリゾーの畑も、6列でたったの1ケース分しかブドウが取れていない…。(写真②)

南のネゴスも霜こそなかったが、夏の猛暑によるブドウ焼けと日照りにより収量は50%減…。最終的に、テレブランのソー・ナットとサンソーのエンジョイしか仕込めなかったそうだ。彼女自身、このままではドメーヌの経営が成り立たないと、止む無く全キュヴェ値上げを決定した。



写真② 6列で1ケース分のみ収穫(ピノドニス)

2012年以降、収量に恵まれないナタリー。2018年は徐々に収量に恵まれ、これからまた再びドメーヌが勢いづくことを期待していただけに、2019年の不作は本当に残念でならない。

(2019.9.28.のドメーヌ突撃訪問より)

※弊社HP「フォト・ギャラリー」より、カラーでサイズの大きい鮮明な写真をぜひご覧くださいませ